



祝 卒業「清怜学年」119名

本日、角館中学校第37期生卒業証書授与式を挙行了しました。119名の卒業生が、4月からの新たな進路に向けて旅立ちました。

卒業証書授与式の式辞の内容を紹介させていただきます。

柔らかな日差しや雪解けの水から、ここ小倉の里にも、新しい季節の兆しを感じられる頃となりました。躍動感みなぎる春の佳き日に、保護者・ご家族の皆様のご臨席を賜り、令和三年度仙北市立角館中学校第三十七期生卒業証書授与式を挙行できますことに感謝申し上げます。ありがとうございます。

ただ今、卒業生一人一人に卒業証書を授与しました。凜として堂々と受け取る姿に、三年間の心身の成長の証が凝縮されていたように感じました。清怜学年の皆さん、ご卒業おめでとうございます。

皆さんが一年時の終盤に始まった未曾有のコロナ禍が、二年過ぎた今も続いています。自分や周囲の人達の健康・安全を最優先させるための措置とは言え、幾多の困難や不便を経験しました。その一つ一つが皆さんに、自分の感情をコントロールし、責任ある行動をとることができる自律心を育み、他者と互いに支え合うこと、励まし合うことの大切さを教えてくれました。また、差別や偏見、誹謗中傷は愚かな行為であることにも気付かせてくれました。そのような中で、生活福祉部の皆さんと生徒会執行部が中心となって展開してくれた「シトラスリボンプロジェクト」は、タイムリーな心温まる取組になりました。

「挑」～互いを思いやり、関わりの輪を広げよう～のテーマの下、自分たちの手で学校生活をより充実させ、豊かなものにするために、一人一人が主役となって活躍してくれた生徒会活動。郡市内はもちろん、県内、東北、全国に角中の名を響かせた部活動。そこには、勝敗や受賞とは別に、皆さんだけが知っている数々のドラマがあったと思います。また、校内記録会・駅伝大会、すすかけ祭、合

唱コンクールなどの学校行事でも、常に力強く背中で一、二年生を牽引してくれました。そのような皆さんの姿は、後輩たちにとって憧れであり、目標であり続けました。清怜学年119名の皆さんは、伝統ある角館中学校に新たな歴史を上書きしてくれました。ありがとうございます。

今日は皆さんにとって本校を卒業する日であると同時に、持続可能な次世代の担い手として、新たな進路へ旅立つ日でもあります。そのような晴れの門出にあたり、二つのメッセージを送りたいと思います。

一つ目は、春から言い続けてきましたが「命を大切にしてほしい」ということです。

皆さんがこの世に生を受け、これまでこうして立派に育ち、今がある事実を大切にしてほしいと思います。全ての命は尊く、かけがえのないものです。自分の命はもちろん、周りの人の命も、大切に続けて欲しいのです。そして、この与えられた命を生かして、これからの社会を担っていく一員として「自分のために、社会のために自分には何ができるのか？」を自分自身に問い続け、社会や人の役に立てる自立した大人になってください。

二つ目は、「関係人口・応援人口としてふるさとを支えてほしい」ということです。

皆さんの中には、強い覚悟をもって、ふるさとを離れた場所に四月からの活躍の場を決めた仲間もいます。三年後には、また更に先の将来には、同じような仲間が増えていくかもしれません。もちろん、ふるさとに残り、直接地域を支えてくれる仲間もいるでしょう。少子化により定住人口の減少が進む仙北市であり、角館町です。みなさんには、将来どこで生活することになっても、心の重心をふるさとに置き、有形無形の応援や貢献ができる関係人口・応援人口として、ふるさとを支え続けてくれるようお願いいたします。

(裏面に続きます)

さて、保護者の皆様、お子様のご卒業おめでとうございます。立派に成長された姿を前にし、これまでの様々なご苦労や喜びが心に浮かび、感慨もひとしおのことと存じます。お子様を励まし、支え、育てこられた御苦労に心から敬意を表しますとともに、この間、本校の教育活動に対しまして、皆様から頂戴したご支援に厚く御礼申し上げます。ありがとうございました。角館中学校は、これからも地域とともにある学校として、地域の方々から「角中があってよかった」と感じていただける学校づくりを続けていきます。引き続き、変わらぬご支援を賜りますようお願いいたします。

今、卒業生の皆さんの胸には四月からの新天地での生活に、溢れる希望や期待と共に、少なからず未知のことに対する不安もあろうかと思われまふ。でも、過去にとらわれ過ぎず、未来を心配し過ぎず、今日、今この時に最善を尽くすということに集中すれば大丈夫です。心配ありません。

結びになりますが、「卒業生の皆さん、角中でよかったですか?」。今はもちろんですが、この後の人生の中でも「角中でよかった」と心から感じられる場面が訪れてくれれば幸いです。

「角館中学校は、皆さんがいつでも、どんな時でも、帰ってきてよい場所の一つです」ということを卒業生の皆さんに伝え、式辞とします。

式は、卒業証書授与、式辞、T.Fさんの送辞、T.Sさんの答辞、「すずかけの道」合唱、「校歌」斉唱と進みました。厳粛な雰囲気の中に、熱い感動がこもった式となりました。

式で見せた3年生の姿は、保護者や家族の方々に対する感謝を示すとともに、後輩たちに対する最後の励ましと導きになりましたし、感謝の気持ちでそれを送りだす後輩たちの姿勢も立派でした。

私が、清怜学年の皆さんと共有できた時間は、この一年間だけでしたが、朝の人懐っこい笑顔や何気ない会話から毎日元気をいただいていた。誕生日に、校長室で男子生徒から「happy birthday」を歌ってもらった驚きと感激は一生忘れません。優しい皆さんと過ごせた一年は、「角中でよかった」と感じられる至福の時間になりました。

いつも子どもたちを支えてくださった、保護者、家族の皆さま方にも感謝の言葉しかありません。ありがとうございました。

受賞の記録

◇大曲仙北中学校体育連盟栄光賞

【柔道】

○ T.H さん (3D)

* 全県総体女子44kg級 優勝

○ F.S さん (3A)

* 郡市総体男子66kg級 2連覇

○ K.S さん (3C)

* 郡市総体女子52kg級 3連覇

【水泳】

○ S.K さん (1C)

* 郡市総体男子50m自由形 大会新

【スキー】

○ S.A さん (2C)

* 全県総体女子大回転・回転 準優勝

【野球部】

* 郡市総体 2連覇

【女子駅伝部】

* 全県総体 準優勝

◇仙北市スポーツ協会奨励賞

【柔道】

○ T.H さん (3D)

* 全県総体女子44kg級 優勝

【空手】

○ Y.K さん (3B)

* 東北ウエイト制ジュニア実戦空手道選手権大会 優勝

*印は受賞理由

受賞した生徒には、3月11日(金)の卒業式予行の前に、全校生徒の前で伝達しました。

受賞者のみなさん、おめでとうございます。

